

令和6年アユ産卵調査結果（調査終了）

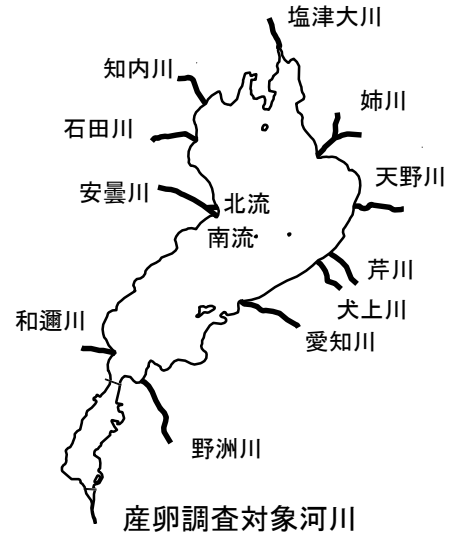
滋賀県水産試験場

調査概要

アユの主要な産卵場となる11河川を対象に、下流域の一定区間で産卵数を調査しています。第6次までの有効産卵数は合計32.6億粒で、平年の45.7%となりました(表1、表2)。

今年の親魚遡上量は平年と同程度であったものの、9月まで河川水温の高い状態が続いたために早期(1次・2次)の産卵数が少なくなったものと考えられます。

今後のアユ資源状況については、ヒウオ生息状況調査(10～12月)や魚群探知機を用いた魚群数調査(翌年1月～8月)、孵化日組成調査等で評価していきます。



2. 調査河川ごとの有効産卵数*

(単位:億粒)

河川名	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	計**
	8月27日～8月29日	9月9日～9月12日	9月24日～9月27日	10月7日～10月10日	10月21日～10月24日	11月14日	
安曇川北流	濁水	濁水	濁水	濁水	濁水	濁水	0.0
安曇川南流	濁水	濁水	濁水	0.3	濁水	0.0	0.3
石田川	0.0	0.0***	1.8	1.1	0.2	0.0	3.1
知内川	0.0	2.6	13.3	1.0	0.2	0.0	17.0
塩津大川	0.0	0.0	0.0***	0.1	0.0***	未実施	0.1
姉川	0.0	4.8	4.0	0.4	0.2	0.0	9.3
天野川	0.0	0.0***	0.0***	0.2	0.0***	未実施	0.2
芹川	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0***	未実施	0.5
犬上川	0.0	0.0***	0.0***	0.2	0.0***	未実施	0.2
愛知川	0.0	0.0	0.0***	1.6	0.0***	未実施	1.6
野洲川	増水	0.0	0.0	0.0	0.0	未実施	0.0
和邇川	増水	0.0	0.0***	0.0***	0.0***	未実施	0.0
計**	0.0	7.6	19.3	5.1	0.5	0.0	32.6

* 有効産卵数:総産卵数から死卵数を除いた値。***単位未満の産卵がありました。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。

3. 有効産卵数の年別比較

(単位:億粒)

年	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	第7次調査	計**
H26	0.6	36.6	9.2	24.0	0.2			70.7
H27	0.0	79.3	15.4	2.1	0.2	0.0		97.1
H28	0.0	6.4	170.7	36.7	0.0	0.0		213.8
H29	0.0	0.1	2.4	0.2	0.0	0.0		2.7
H30	0.1	8.4	3.8	0.2	0.1	0.2	0.0	12.8
R1	0.0	13.1	25.7	11.7	3.1	0.0		53.6
R2	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0		47.8
R3	2.7	136.2	12.4	1.8	2.5	0.6		156.2
R4	3.8	18.0	36.5	0.5	0.1	0.0		58.9
R5	0.0	7.7	5.3	1.9	0.2			15.2
R6	0.0	7.6	19.3	5.1	0.5	0.0		32.6
平年値								71.3

* 平年値は過去10年のうち、最大値、最小値および過小評価と判断されたH30年の値を除く平均値です。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。